

農林水産公共事業コスト構造改善について (コスト構造改善プログラムの策定)

農林水産省では、農業農村整備事業等、林野公共事業、水産関係公共事業の各分野毎に「新コスト縮減計画（平成12年）」や「コスト構造改善プログラム（平成15年）」等を策定するなど、公共事業のコスト縮減に取り組み、一定の成果を挙げてきたところです。

厳しい財政事情が続くなか、「平成20年度予算編成の基本方針（平成19年12月4日閣議決定）」において「平成20年度以降についてもこれまでと同様の厳しいコスト縮減計画を新たに策定し、コスト縮減を引き続き強力で推進する。」とされたこと等を踏まえ、引き続きコスト縮減の取り組みを継続する必要があります。

一方、行き過ぎたコスト縮減は品質の低下を招く恐れもあり、今までのコスト縮減のみを重視した取り組みから、コストと品質の両面を重視する取り組みへの転換を図ることが重要となっています。

これらの観点を踏まえ、新たに「コスト構造改善プログラム」を策定し、直接的にコストの低減に資する施策に加え、品質の向上に資する施策や、社会コスト構造の改善に資する施策等に幅広く取り組み、平成20年度から平成24年度までの5年間で15%の総合的なコスト改善の達成を目指すこととしました。

○農業農村整備事業等コスト構造改善プログラム	．．．．．	P 2
○林野公共事業コスト構造改善プログラム	．．．．．	P 14
○水産関係公共事業コスト構造改善プログラム	．．．．．	P 23